

第 1 号議案

# 平成 26 年度事業報告書

**公益目的事業 : 精神障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう  
支援する事業**

**1 自主事業 「熊本県あかねの里の運営事業」**

**(1) あかね荘事業**

① 短期入所事業

事業内容 : 居宅において障がい者の介護を行っている人が、一時的に介護できなくなった場合に、その障がい者を施設に短期間宿泊させ、入浴や食事等、日常生活上の支援を提供する事業を行いました。

実績 : 延べ 95 人 (実数 5 人) の方が利用

② 自立訓練 (生活訓練) 事業

事業内容 : 施設や病院から地域生活への移行や地域生活を送るうえで必要な生活能力の維持、向上を図るため、洗濯・整理整頓などの日常生活能力、金銭・服薬管理の訓練や支援等を宿泊または通所により行いました。

実績 : 延べ 9,516 人 (実数 70 人)、宿泊での延べ利用者 12,060 人 (実数 68 人) 方が利用し、うち退所者 31 人うち 11 人が地域で自立した生活を送っています。

③ 相談支援事業

一般相談支援事業

事業内容 : 広く一般の方 (障がい者、家族等) からの、相談に対し、専門の相談員が電話相談、面談、関係機関との連絡調整等、地域で自立して生活するために必要な支援をする事業を行いました。

実績 : 延べ 555 人の方が利用

**(2) あかねワークセンター事業**

① 就労継続支援 (B型) 事業

事業内容 : 一般就労が困難な方に、就労や生産活動の機会を提供し、働く為に必要な技術や技能、習慣性の習得やコミュニケーション・体力等の向上を図りながら、目的を持って地域の中で生活ができるように支援する事業を行いました。作業は印刷作業、製菓作業、製靴作業、軽作業等を行いました。

実績 : 延べ 5,238 人 (実数 33 人) の方が利用

② 多目的ホール開放事業

事業内容 : 施設内の多目的ホールを利用してもらうことにより地域住民に障がい福祉サービス事業所に対しての偏見や差別を是正してもらい地域と精神障がい者や障がい福祉サービス事業所との共生を図ることで、精神障がい者の地域生活への移行をスムーズに行えるよう、多目的ホールを広く一般の人や教育機関等に低額な利用料で開放しました。

実績 : 利用者数 9,630 人 37 団体が利用

### (3) あかねホーム事業

#### ① 共同生活援助事業（グループホーム）

事業内容 : 地域において自立した日常生活を送るため、夜間や休日を含め、共同生活を営む住居において、家事、食事、相談などの日常生活上の援助を行う事業。

実績 : 延べ 2,722 人（実数 14 人）、の方が利用し、退去者 6 人のうち 2 人が地域で自立した生活を送っています。

## 2 委託事業：次の事業を熊本県・熊本市から受託している。

### (1) 精神科救急情報センター事業

事業内容 : 精神科救急情報センターでは、休日夜間において、緊急に精神科医療を要する精神障がい者やその家族等からの電話相談に対応し、必要な助言や医療機関紹介などを行いました。

精神科救急情報センターは、当法人の業務として県内の精神科病院が当番制で行いました。当番病院には、相談員（当該病院の看護師や精神保健福祉士等）と専門的にバックアップする医師を配置し、的確な対応ができる体制としました。さらに、当法人の自主的な業務として、電話相談に関する統計分析を行いました。統計は、時間帯別、依頼者別、対象者性別、曜日毎、対象者住所別、所要時間別に作成・分析し、結果を協会ホームページに掲載及び参考のため県にも提供しました。この分析結果は、住民への周知状況の確認や相談員の対応能力向上のための研修会等に活用し、事業の充実につなげました。

また、精神科救急情報センター研修会も実施しました。

実績 : 26 年度相談対応件数は 1,358 件

研修会は平成 26 年 5 月 30 日（金）に実施。

場所は県庁大会議室 参加人数 105 人

### (2) 精神科二次救急医療事業

事業内容 : 休日・夜間における精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により、緊急に医療を必要とする精神障がい者等に対応するため、県内全精神科病院が輪番制で当法人の業務として事業を行いました。本事業は、外来対応だけではなく、重症の精神科救急患者への入院対応ができるよう、輪番病院に空床を 1 床確保しました。

実績 : 26 年度救急患者数は 899 件（相談 319 件、診察 563 件、その他 17 件）

## その他事業1 : 会員である精神科医療機関の相互支援事業

### 1 講演会・研修会事業（精神保健医療福祉従事者の人材育成及び教育研修事業）

事業内容 : 精神科医療の向上のため会員間の知識の共有・問題点の把握等を目的として、会員医療機関を対象に院長会を年6回（奇数月開催）、学術講演会を年5回開催しました。

大きくは4委員会（総務委員会、病院管理委員会、学術研修委員会、地域医療委員会）を設け委員会審議を行い、会員医療機関に勤務する職員を対象に精神科医療の専門分野の研修会等行いました。

- (1) 院長会 年6回開催（5/27、7/17、9/18、11/19、1/21、3/19）
- (2) 学術講演会 年5回開催（7/17、9/18、11/19、1/21、3/19）
- (3) 事務長会研修会 年2回開催（10/21、3/6）
- (4) 診療・介護報酬部会研修会 年1回開催（4/17）
- (5) 薬剤部小委員会研修会 年2回開催（9/20、3/7）
- (6) 栄養部小委員会研修会 年2回開催（6/3、2/13）
- (7) 看護部小委員会研修会 年2回開催（5/16、11/21）
- (8) コメディカル部小委員会研修会 年2回開催（6/16、12/17）

### 2 機関紙「熊精協会誌」発行事業（精神保健医療福祉に関する普及及び啓発事業）

事業内容 : 会員相互間の情報交換や学術広報を目的として理事会議事録、学術講演録等を掲載した機関紙「熊精協会誌」を年に4回発行（発行部数350部）し、会員及び関係機関に配布しました。熊精協ホームページで会員相互間の情報提供や各種事業の広報をホームページで行いました。協会誌編集委員会 4回実施（7/2、9/3、12/3、3/4）

### 3 精神障害者リハビリ事業

#### (1) くませいフェスタ事業（くませいフェスタ実行委員会）

事業内容 : 会員医療機関の相互交流や精神障害者のリハビリの一環として会員医療機関に入院している精神障害者を対象としたレクリエーション大会（くませいフェスタ）を開催しました。

第12回くませいフェスタ

- ・参加人数 1,401人
- ・開催日 平成26年6月5日（木）
- ・会場 パークドーム熊本

#### (2) 作品展示への事業協力（熊精協コメディカル部小委員会）

- ・「第52回熊本県精神保健福祉大会」における作品展示に協力  
平成26年10月10日 荒尾総合文化センター
- ・「第22回精神障害者作品展示会」における作品展示に協力  
平成26年11月9日 下通りアーケード

## その他事業 2 : 県・市からの委託事業

### 1 精神障害者搬送業務

事業内容 : 精神疾患の急発または急変のため医療及び保護を必要とする者に迅速かつ適切な医療を提供するため、措置入院患者、医療保護入院患者を医療機関へ搬送する業務を行いました。

実績 : 熊本県下 6 件 (内熊本市 5 件)

### 2 精神障がい者地域移行支援事業及び研修会開催事業

事業内容 : 退院可能精神障害者に対し地域移行推進員による退院に向けた個別支援を提供する事業を行いました。また、精神障がい者の円滑な退院、地域移行を図るため、研修会を行いました。

実績

- ・ 高齢者入院地域支援事業  
熊本県関係 参加病院 6 病院  
熊本市関係 参加病院 6 病院
- ・ 地域移行支援アドバイザー配置事業  
熊本県関係 2 名配置  
熊本市関係 3 名配置
- ・ 退院支援生活環境相談員等研修会を実施  
平成 27 年 3 月 11 日 (水)  
場所 ウエルパルクまもと 参加人数 135 名

## その他事項 : 関連団体への支援事業他

### 1 関連団体への支援事業

熊本県精神科病院協同組合等への協力支援を行いました。

- (1) 熊本県精神科病院協同組合
  - ・ 「あかねクリーン」に対する営業協力等
- (2) 熊本県精神保健福祉協会の事業
  - ・ 第 52 回熊本県精神保健福祉大会開催 (10/10) 協力支援
- (3) 熊本県精神保健福祉センターの事業
  - ・ 精神保健福祉センター主催の研修会等への協力支援
- (4) 熊本県精神科医療連絡協議会の開催 (11/14) くませいビルで実施
  - ・ 熊本県の精神医療の在り方等について、県や関係医療機関と意見交換を行いました。

### 2 共催・後援

- ・ H26 年度うつ病に対する医療連携のための研修会  
一般かかりつけ医と精神科医との医療連携体制強化のための研修会を県と共催で開催しました。

### 3 各関係機関との連携

関係機関等の要請に応じ、各種審査会や協議会等への協力支援を行いました。

- (審査会等への出席) 熊本県精神医療審査会など
- (会議等への出席) 熊本県医療審議会、熊本県自殺対策連絡協議会など
- (研修等への協力) 熊本県介護支援専門員更新研修への講師派遣
- (医師等の推薦) 心神喪失者等医療観察法に基づく精神保健判定医等の推薦
- (その他) くまもと自殺予防医療サポートネットワーク事業

### 4 九精協・日精協及び関連機関の事業支援

- (1) 九精協
- (2) 日精協 熊本県支部

### 5 その他

- (1) 会員の入会・退会について 本年度は該当なし。
- (2) 要望等について  
熊本県及び熊本市に対して精神保健福祉事業及び医療介護施策に係る要望を行いました。(10/17)

### 1 学術講演会

	演 題	講 師	開 催 日
1	「診療報酬改定と向精神薬の減算について」	医療法人蔦の会 たなか病院 副院長 松本 善郎 先生	H26年7月17日
2	「平成26年度診療報酬について」	医療法人社団東京愛成会 高月病院(日精協副会長) 院長 長瀬 輝誼 先生	H26年9月18日
3	「統合失調症治療におけるLAIのリスク/ベネフィット」	医療法人赤城会三枚橋病院 院長 村上 忠 先生	H26年11月19日
4	「神経精神科に設置された3セクターの活動報告」	熊本大学大学院生命科学研究 部神経精神医学分野 教授 池田 学 先生	H27年1月21日
5	「臨床全科で遭遇することの多い不眠、うつ、せん妄や認知症対策とケア～自験例のビデオも用いて」	島根大学医学部精神医学講座 教授 堀口 淳 先生	H27年3月19日

## 2 研修会

### (1) 看護部小委員会研修会（第 64 回・第 65 回・第 66 回）

	開催日	会場	内容
1	H26年4月17日 第64回研修会	くまもと森都心プラザ	講演「平成26年度診療報酬改定について」 講師 日精協医療経済委員会委員 松本 善郎 先生
2	H26年5月16日 第65回研修会	KKR ホテル	講演「続・災害時の備え」 講師 九精協各県看護部長等代表者 (第11回九精協各県看護部長等代表者会議)
3	H26年11月21日 第66回研修会	県立劇場	講演「労務管理の基礎知識」 講師 熊本労働局労働基準部監査課 大下 大二郎 先生

### (2) 栄養部小委員会研修会

	開催日	会場	内容
1	H26年6月3日	(株)ハウディ第一別館	講義「栄養指導論と実践」 講師：佐野 正人先生
2	H27年2月13日	(株)ハウディ第一別館	講義1「精神疾患について～いろいろな視点から～」 講師：県立こころの医療センター院長 濱元 純一 先生 講義2「精神疾患と食事療法」 講師：熊本県立大学 非常勤講師 山下 茂子先生

### (3) コ・メディカル部小委員会研修会（第 47 回・第 48 回）

	開催日	会場	内容
1	H26年6月16日 第47回	熊本テルサ	総会（報告・計画） 講演「これからの精神科コ・メディカル」 講師：日精協熊本県支部長、熊精協副会長 ましき会益城病院 理事長犬飼 邦明 先生
2	H26年12月17日 第48回	熊本テルサ	講演：「就労支援について 聞いてみよう」 講師：熊本障害者職業センター 岡田 雅人氏ほか

(4) 薬剤師部小委員会研修会

	開催日	会場	内容
1	H26年9月20日 第25回	市民会館 崇城大学ホ ール	「パーキンソン病と気分障害」 講師：弓削病院 磯田 和也 先生
2	H27年3月7日 第26回	富田薬品(株) 熊本本社	「生活習慣病と睡眠障害～当院 のスボレキサントのPSG検査 結果をふまえて～」 講師：社会医療法人芳和会 くわみず病院 院長 池上 あずさ 先生

(5) 事務長会研修会

	開催日	会場	内容
1	H26年10月21日	くまもと森 都心プラザ ホール	講演：「診療報酬改定の正しい 解釈と施設基準届出 の留意点」 講師：九州厚生局熊本事務審 査課長 伊藤浩一様他
2	H27年3月6日	ANA クラウ ンプラザホ テル熊本ニ ュースカイ	講演「東日本大震災～絶望の5 日間」 講師：栗原市立栗原中央病院 看護師長 石母田 由美子氏

## 要望等について

※平成 26 年 10 月 17 日 熊本県健康福祉部長、熊本市健康福祉子ども局長あて要望をいたしました。

### 要望項目

- 1 新たな財政支援制度（基金）による事業案の検討について（熊本県）  
事業案の検討にあたっては精神科医療現場の人材確保、通院患者危機回避のための精神科救急医療提供体制、精神科在宅ケア関連事業（地域移行支援事業）など国の補助事業、診療報酬の中で手当されていない部分の事業について、当該基金において事業案を検討することとし、その際は熊本県精神科協会の意見を求めること。
- 2 認知症・高齢者精神科医療施策について（熊本県・熊本市）  
認知症施策や高齢者精神科医療施策の検討にあたっては、高齢者精神科医療の主たる担い手である熊本県精神科協会の参画を求め、医療、介護、福祉の連携に今後なお一層努めること。
- 3 精神医療審査会での意見聴取について（熊本県・熊本市）  
請求者等からの意見聴取は、現在は原則として精神医療審査会の開催会場に請求者等を招いて行っているが、これを他県のように、原則として当該患者の在院医療機関に委員が出向いて行う方法に見直しを行うこと。やむをえず聴聞に招く場合には患者搬送などの必要な手当を講ずること。
- 4 熊本県精神科二次救急医療事業における空床確保料について（熊本県・熊本市）  
熊本県及び熊本市から委託を受けて行っている熊本県精神科二次救急医療事業に係る委託料のうち、空床確保料については空床確保に要する精神科病院の負担等を考慮して支給を行うこと。
- 5 消費税について（熊本県・熊本市）  
平成 26 年度から消費税が 8%へ増税となったところであるが、平成 26 年度の熊本県精神科二次救急医療事業を始めとする熊本県、熊本市からの委託事業の委託料（消費税及び地方消費税を含む）は前年度と同額となっており実質減額となっている。平成 27 年度には 10%へ引き上げが予定されており、消費税の増額分を反映した委託料を積算すること。

平成26年度 あかねの里 事業実績

1 事業運営

事業種別	事業所名	事業内容
第2種社会福祉事業 (障害福祉サービス事業の経営)	熊本県あかね荘	自立訓練(生活訓練)事業 (定員50名)
		宿泊型自立訓練事業 (定員50名)
		短期入所事業 (定員2名)
	熊本県あかねホーム	共同生活援助事業 (定員10名)
	熊本県あかねワークセンター	就労継続支援B型事業 (定員30名)

2 月別利用者実績

月別利用者数	あかね荘		あかねホーム		ワークセンター		計	
	H25年度	H26年度	H25年度	H26年度	H25年度	H26年度	H25年度	H26年度
月	名	名	名	名	名	名	名	名
4	95	75	8	10	30	30	133	115
5	87	69	8	10	30	29	125	108
6	80	77	9	10	29	30	118	117
7	78	75	10	9	30	31	118	115
8	81	75	10	9	33	28	124	112
9	82	75	10	8	32	29	124	112
10	81	81	10	7	31	29	122	117
11	76	85	10	9	32	24	118	118
12	76	87	10	8	32	25	118	120
1	73	87	10	8	32	25	115	120
2	68	90	10	9	31	24	109	123
3	75	82	10	8	30	22	115	112
計	952	958	115	105	372	326	1439	1389
平均利用者数	79	80	10	9	31	27	120	116

\* 月別利用者数は、自立支援費が日払いであることから、自立支援費請求人数とした。

3 障害種別利用者数(受給者証標記)

	精神	知的	重複	計	備考
あかね荘	56	8	6	70	重複の内訳: 1(身体・知的)、1(身体・精神)、4(知的・精神)
ホーム	11	2	1	14	重複の内訳: 1(知的・精神)
ワークセンター	29	1	1	31	重複の内訳: 1(知的・精神)
計	96	11	8	115	重複の内訳: 1(身体・知的)、1(身体・精神)、6(知的・精神)

\* 人数は実数

4 公共下水道供用開始に伴う排水設備改修工事

熊本市による公共下水道の完備により、既存の浄化槽の廃止及び公共下水道への接続工事を以下の通り実施した

工事概要: あかねの里排水設備改修工事

工期: 平成27年3月16日～3月31日

金額: 1,548,994円

5 サービス管理責任者を中心とした個別支援計画に基づく支援の向上

- (1) 利用者の希望や意向を重視した個別支援計画の策定
- (2) 個別支援計画に基づく統一支援の徹底
- (3) 利用者的人格尊重に基づいた支援の徹底
- (4) スーパービジョンによる支援の徹底
- (5) サービス管理責任者による各種支援計画の管理と指示系統の徹底
- (6) 相談支援事業所との連携強化

### 6 見学者の受入実績

月	機関数(箇所)	人数(名)	備考
4	5	18	利用希望者、行政機関、精神科病院、教育機関等からの見学
5	8	23	
6	6	17	
7	11	40	
8	6	21	
9	12	31	
10	4	8	
11	3	12	
12	9	33	
1	3	9	
2	3	9	
3	4	14	
計	74	235	
1ヶ月平均	6	20	

\* 毎週水曜日午後2時から見学会を実施している。

### 7 職員配置基準数(平成26年4月1日現在)

専従・兼務の別	あかね荘		あかねホーム			あかねワークセンター		
	常勤・専従	常勤・兼務	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従
管理者		1		1			1	
サービス管理責任者	1	1		1			1	
地域移行支援員		13						
生活支援員	5						3	
職業指導員						1		1
世話人				3	1			
事務員		1						
実人数	19		1			6		

\* 職員配置については、各事業の定員数に応じた人員配置を行っている。

### 8 利用者退所状況

事業所			あかね荘	あかねホーム	あかねワークセンター	
登録者・入居者実数			36	4	2	
社会復帰した者	家庭内適応	家業従事	0	0	0	
		家事従事	0	0	0	
		無役割	2	0	1	
	自立	就労	5	0	2	
		生活	2	2	1	
		就学	0	0	0	
	生活保護	生活	2	0	1	
		アルバイト	0	0	0	
	小計(A)			11	2	5
	社会復帰できなかった者	再入院		14	3	3
他科入院		0	0	0		
他施設入所		0	0	0		
勧告退所		4	0	0		
希望退所		2	1	0		
無断退所		0	0	0		
死亡		0	0	0		
その他		0	0	0		
小計(B)			20	4	3	
合計(C)			31	6	8	
社会復帰率(A/C)			35%	33%	63%	